

# News Letter 猪名川河川レンジャー

2020年度  
vol.1

(2020年8月発行)

## トピックス

- 【環境】猪名川の自然 ～オギ原とカヤネズミ～
- 【環境】外来植物アレチウリについて
- 【防災】高潮浸水想定を確認しよう
- 【防災】川と共存し、命を守るためのミニ情報

- 【水辺文化】猪名川歴史探訪のすすめ
- 【水辺文化】古絵図に見る鼓ヶ滝から

## お知らせ

- 第9弾 猪名川のい～な！作品募集のお知らせ



カヤネズミは大人の親指サイズの小さなネズミです。河川敷や里山の丈の高い草原で暮らしているよ。



カヤネズミ



晩秋の子ガヤ群落内の巣



オギ原のカヤネズミの巣

## 環境 猪名川の自然 ～オギ原とカヤネズミ～

猪名川の下流域・中流域の河川敷には、オギ原が広がっているところが多くあります。オギ原は小動物や昆虫など生きもの達にとって、とても大切な場所です。



佐藤レンジャー

日本最小のネズミであるカヤネズミも、巣を作る環境としてオギ原を好んで利用しています。オギは葉が強く、かじって編みこむのに適しているようです。河川敷でオギ原を見つけたら、よく観察してみてください。カヤネズミのかじった痕跡、食み痕があり、その周りで巣が必ず見つかります。チガヤ群落などでも、季節ごとに適した巣材を見つけて暮らしている様子が見られるかもしれません。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため6月末まで活動を自粛しました。今号ではイベント報告の代わりに、猪名川の魅力や資源、防災等についての情報を、河川レンジャーと協力員からお届けします。

## 防災

### 高潮浸水想定を確認しよう

2018年の台風21号で高潮被害を受けた阪神地域について、高潮浸水想定が更新されました。ハザードマップでは、過去最大とされる昭和9年の



志築レンジャー

室戸台風級の襲来により、波高5.2～5.5mという想定しうる最大規模の高潮が発生した場合を分析しました。防潮堤や堤防、水門などが破壊される最悪の事態で浸水区域は約6400haになり、2階建ての屋根まで(5m以上)の浸水は約1400haと推定。うち尼崎市は約1千haに達し、浸水被害は阪神尼崎駅で6m、JR尼崎駅で5.1m、災害時の対策本部となる尼崎市役所でも3.6mと予想されています。

猪名川、藻川に囲まれた園田地区や伊丹市など、旧高潮マップでは高潮浸水想定外であった区域も、今回新たに水害想定内となつていきます。高潮は津波と異なり水が引くのが遅いため避難者が長時間孤立する恐れがあります。浸水してから避難を始めたのでは遅く、手遅れになる前に逃げられるかどうかが鍵です。

## 防災

### 川と共存し、命を守るためのミニ情報

近年、川の氾濫等のニュースが増えていますが、そのときに役立つライブカメラの存在をご存知ですか？猪名川には現在、下図の8箇所に設置されています。猪名川河川事務所のホームページで最新の画像を確認でき、増水時、氾濫時に危険を侵さず情報を得ることが出来ます。

また、自治体のホームページで公開されているハザードマップについてもオススメしたいことがあります。洪水のときに危険な場所は？避難するときのルートは？この道が塞がっていたら？と想定しながら、実際に家族や近所の方々と『防災散歩』していただきたいのです。

いつ来るかわからない天災。今日すぐにも情報を確認し、守れる命を増やしましょう。

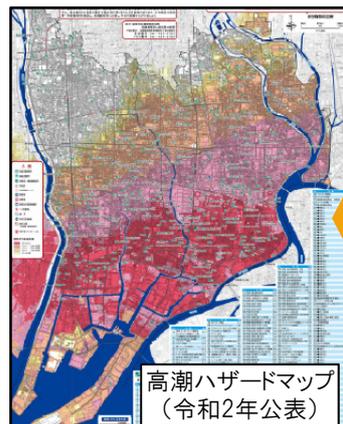


ライブカメラ位置図



大東協力員

普段から情報収集して、いざというときに備えておくことが大切だね。



高潮ハザードマップ (令和2年公表)

高潮ハザードマップ (更新前)

※ ライブカメラの映像は以下の猪名川河川事務所ホームページから閲覧可能  
<https://www.kkr.milt.go.jp/inagawa/live/>

※ 尼崎市公表資料をもとに、マップ部分のみをトリミングした。  
※ 最新のハザードマップは以下の尼崎市ホームページで閲覧可能。  
[https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/bosai\\_syobo/hazardmap/](https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/bosai_syobo/hazardmap/)

水文化

# 猪名川 歴史探訪のすすめ

猪名川は、兵庫県川辺郡猪名川町の  
大野山に水源があり、一庫大路次川・  
余野川・箕面川などを合流しながら、伊  
丹市森本では藻川と分かれ、千里川を  
合流した後、尼崎市園田では再び藻川  
と合流して、尼崎市神崎付近で神崎川  
に流入し、大阪湾へと注ぎます。



原口レンジャー



猪名川流域界

流域には加茂遺跡や田能遺跡など多くの遺跡があることからわかるように、古代から重要な場所として重用され、上流の豊富な森林資源は建築材や造船材などとして切り出されていました。

水文化

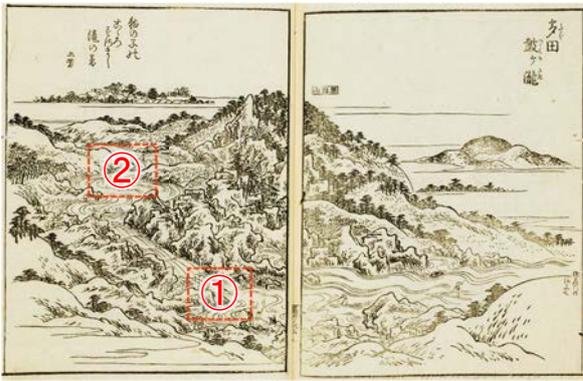
## 古絵図に見る鼓ヶ滝から

川西市域を流れる猪名川には鼓ヶ滝という名所があります。落差の大きい落下型の滝ではなく、岩間に水をたぎらせる急流です。



今西協力員

江戸時代の寛政8〜10年(1796〜1798年)に出版された摂津名所図絵には、『多田鼓ヶ滝』として、



摂津名所図絵『多田鼓ヶ滝』(下は部分拡大)

猪名川及びその周辺は万葉集等の歌集にもその情景を詠んだ歌が載っています。古代の人々も見たその情景を想像するのも面白いものです。また流域の旧街道や寺社仏閣との関係にも興味深いものがあります。

釣の子の、ころすさまじい滝の音の句とともにその様子が描かれています。添えられた句からもわかるように、「こはアユの好漁場だつたようで、網で漁をする人の姿が描かれています。この頃の資料として、アユ漁のできる鼓ヶ滝の所屬をめぐる訴状が残っており、争いがおきる程の漁獲量があつたものと思われれます。

この図には、他にも木材流しの様子が描かれています。上流の一庫大路次川には、通船の妨げになるとして一本流しから筏に組み替えるように指定されている場所がありました。しかし、鼓ヶ滝では急流に材木を一本ずつ投げ入れられている人の姿があります。前後の穏やかな流れでは人は竿を指して筏を操っています。どうやらこの難所では筏を崩して一本ずつにして流れを通したようです。古絵図などで歴史を辿ると、眼前の景色が少し変わったものに見えるのが面白いです。



現在の鼓ヶ滝周辺の様子 (柴谷浩也氏撮影、第8弾 猪名川のい〜な! 入賞作品)

環境

## 外来植物アレチウリについて

猪名川河川敷の至る所に広がっているアレチウリは、北アメリカから輸入大豆に混じって侵入したウリ科の外来植物で、瞬く間に辺り一面を覆い尽くす繁殖力が特徴です。その成長は非常に早く、ツル性も相まって他の植物に覆い被さり、時には木を飲み込むほどに成長します。こうしてアレチウリが光を遮ると、そこに生育していた在来植物の成長を妨げてしまい、共存している多くの生き物にも影響が及びます。加えて、秋には沢山の種をつけ、翌年また爆発的に拡大していきます。

駆除するには種をつける前に抜き取るのが効果的ですが、人手が物を言う地道な作業と言わざるを得ません。行政・企業・住民が一体となって取り組むことが望まれています。



繁茂するアレチウリ



アレチウリの種



覆われた様子



水谷協力員

## 第9弾 猪名川のい〜な! 作品募集のお知らせ

毎年恒例の「猪名川のい〜な!」の作品を募集しています。猪名川の魅力を伝える写真や絵画など、奮ってご応募ください。

詳しくは、作品募集チラシ、または、猪名川河川レンジャーのwebサイトをご覧ください。

Webサイト <http://www.iranger.jp/>



昨年の猪名川河川レンジャー賞 受賞作品(一部)

# 猪名川河川レンジャー

Webサイト <http://www.iranger.jp/>  
メールアドレス [info@iranger.jp](mailto:info@iranger.jp)

<https://www.facebook.com/InagawaRanger>



Webサイト



facebook



猪名川河川事務所 工務課  
池田市上池田2丁目2番39号  
TEL:072-751-1111(代表)

新たな  
河川レンジャーも  
募集中です!

猪名川河川レンジャーに関するお問い合わせは、Web サイトまたはメールアドレスをご利用いただくか、猪名川河川事務所 工務課までご連絡下さい。